

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.26)No.	1172	(H.25)No.	1172
-----------	------	-----------	------

事務事業名	青少年センター運営費		
担当部局名	担当室名	室長名	
教育委員会事務局	文化生涯学習室	高津 祥完	

会計区分	事業コード	508803
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 教育費	青少年センター費	
項 社会教育費	(小事業名)	
目 青少年センター費	青少年センター運営費	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	4	心豊かな教育と文化に包まれた、ゆとりある暮らし
	基本政策	3	市民文化の創造
	施 策	1	市民文化
	小 施 策	1	文化芸術活動の振興
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
市民の芸術文化活動を支える拠点施設として、多様で優れた文化芸術の鑑賞機会の提供し、市民の芸術文化活動への支援を行います。
事業内容
青少年センター(アドバンスコップADSホール)が行う事業等の運営経費です。ピアノコンサート、ミュージカル、市民文化オンステージなど多彩な自主事業を開催いたします。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.25年度(事業量・取組実績)	H.26年度(事業量・取組計画)
主な事業の実績・計画	市の直営での管理運営となり、主催事業等の運営費を計上しました。	主催事業等の運営費を計上しています。
	報償費 400千円 需用費 383千円 役務費 126千円 委託料 411千円 使用料及び賃借料 6千円	需用費 1,246千円 役務費 408千円 委託料 4,879千円 使用料及び賃借料 65千円 報償費 1,635千円 役務費(保険料) 25千円

H.27年度(事業計画)	H.28年度(事業計画)	H.29年度(事業計画)
指定管理制度の活用を予定しています。	指定管理制度の活用を予定しています。	指定管理制度の活用を予定しています。

	H.25年度(決算見込)	H.26年度(作成時予算額)	H.27年度(計画予算)	H.28年度(計画予算)	H.29年度(計画予算)
①直接事業費	1,325千円	8,258千円	8,260千円	8,260千円	8,260千円
内 国・県支出金					
内 地方債					
内 其他(諸収入)	256	6,365			
内 一般財源	(0) 1,069	1,893	8,260	8,260	8,260
人工数					
職員	0.45人	0.45人	0.15人	0.15人	0.15人
臨時職員等	0.96人	0.96人			
②概算人件費	(0千円) 5,052千円	5,052千円	1,140千円	1,140千円	1,140千円
①+②総事業費	(0千円) 6,377千円	13,310千円	9,400千円	9,400千円	9,400千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業などは点検対象外)

考察(H.25年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
子ども伝統芸能、市民オンステージ、市制施行60周年コンサートなど多彩な事業を展開しました。	平成26年度はミュージカルや篠笛コンサートなど市民団体とも連携を図りながら、積極的な自主事業を展開いたします。また、平成27年度からの指定管理者制度による管理運営に向けて取組を進めます。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	市内唯一の文化ホールとして、主催事業にも積極的に取り組み、市民文化の向上と舞台芸術の鑑賞など文化振興に寄与しています。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 検討している・今後可能性がある(※検討内容を記載→)	芸術文化団体に情報提供を積極的に行い、施設を利用しやすいように努めています。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(改善)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画
市内唯一の文化ホールとして、事業を継続していく必要があります。管理運営については、平成27年度からの指定管理者制度による管理運営に向けて取組を進めます。	